



第361回 6月定例会

一般質問

- | | |
|------------|----------|
| まつもと あきのり | かしま じゅん |
| ・松本 哲昇 | ・加島 淳 |
| ほりい かすみ | やまなか おさみ |
| ・掘井 算満 | ・山中 修己 |
| いしだ きくお | すずがき はじめ |
| ・石田 喜久男 | ・鈴垣 元 |
| かわしま のぶ ゆき | たけうち おさむ |
| ・河島 信行 | ・竹内 修 |

議案質疑

- ふじい たまお
・藤井 玉夫

議会傍聴

6月定例会 45人

～おだ子午線の森～

夏本番!! 森で気分爽快♪

下東条・中番ウォーキング会のみなさん

6月定例会終わる

- こんなことが決まりました…… 2～3
一般質問・質疑発言者…………… 4
一般質問・質疑等について…… 5～9
議会改革特別委員会……………10
行政視察報告……………11
議会の動き……………12



6月定例会 いそないどが決まりました。

6月定例会は、5月29日から6月23日まで26日間開催しました。
一般会計補正予算及び人事案件などを含む議案6件を原案のとおり、可決・同意しました。

一部改正された条例

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成21年5月1日に出された人事院勧告に鑑み、一般職の職員に対して同年6月に支給する期末・勤勉手当の額を暫定的に減額(0.2月分)する措置を講ずるため。

特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び小野市教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成21年5月1日に出された人事院勧告に鑑み、市長、副市長、教育長に対して同年6月に支給する期末手当の額を暫定的に減額(0.2月分)する措置を講ずるため。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成21年5月1日に出された人事院勧告に鑑み、議会の議員に対して同年6月に支給する期末手当の額を暫定的に減額(0.2月分)する措置を講ずるため。

主な議案

小野市公平委員会委員の選任について

現公平委員である油井五郎委員の任期が、平成21年7月21日で満了となるため、その後任として同氏を再任するため。

補正予算関係議案

平成21年度小野市一般会計補正予算(第1号)

補正額 246,200千円の追加
総額 18,446,200千円

平成21年度小野市老人保健特別会計補正予算(第1号)

補正額 20,672千円の追加
総額 36,972千円



一般会計補正予算の主な内容

深刻な経済危機に迅速に対応するため、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用して、2億円規模の地域活性化事業を予算化。

事業内容は、「安全・安心の実現」として消防緊急通信指令システムの更新や商工業者への相談窓口設置、「少子高齢化社会への対応」として児童館屋外広場の整備等計12事業の実施。加えて、緊急雇用創出事業として、1,500万円を追加し、地域の雇用の促進を図る。また、消費生活相談の充実や、地域コミュニティ



更新予定の消防緊急通信指令システム

事業の推進経費を加え、2億4,620万円の補正である。

内容 地域活性化事業

説明 経済状況に機動的・弾力的に対応し、地域活性化を推進するため、平成22年度実施予定の事業を前倒するなど、12の追加事業(総額2億円)を実施する。国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金(176,000千円)を活用する。

内容 緊急雇用創出事業

説明 雇用失業情勢の悪化を受け、さらなる雇用の受け皿を確保する必要があることから、非正規労働者、中高年齢者等のための次の雇用へのつなぎ雇用・就業機会の創出を行う。県補助(基金)事業 補助率10/10

内容 白雲谷温泉運営管理基金への積立

説明 平成20年度も、収支として黒字を計上したため、基金に積み立てる。

内容 競輪訴訟(阪急電鉄)の弁護士報酬

護士報酬

説明 平成21年2月13日判決確定関係(20市勝訴)による弁護士報酬の支払い。

この判決確定で競輪訴訟は全て完了した。

内容 消費生活相談事業経費

説明 消費生活相談に従事する人材

の確保及び資質の向上を図るため、窓口体制の整備等を実施する。消費者行政活性化交付金を活用する。県補助(基金)事業 補助率10/10

内容 地域コミュニティ助成事業

説明 市場地区地域づくり協議会が「市場地区夏祭り」を実施する際に必要なやぐら、音響機材、テント等備品を購入する経費を助成する。宝くじ助成金(財)自治総合センターの助成金 補助率10/10

《平成21年度 一般会計6月補正予算概要》

地域活性化事業	200,000千円
内訳	
消防緊急通信指令システム更新	(50,000千円)
児童館屋外広場整備事業	(45,000千円)
道路整備事業	(30,000千円)
緊急経済対策相談窓口設置	(1,500千円)
など 12事業	
緊急雇用創出事業	15,000千円
白雲谷温泉運営管理基金への積立	25,900千円
	(H20 36,500千円)
競輪訴訟(阪急電鉄)の弁護士報酬	1,456千円
消費生活相談事業経費	1,061千円
地域コミュニティ助成事業	2,500千円
経済センサス	283千円
合計	246,200千円



浄土寺裏山アジサイの里

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

平成21年 6月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧いただけます。

HPアドレス：<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

一般質問発言者

松本 哲昇 議員

- ・ 下水道について
- ・ 資源ごみについて
- ・ 市場小学校西グラウンドについて

加島 淳 議員

- ・ 船木浄水場の稼働状況について
- ・ 2010年「第19回全国ハーブサミット小野大会」開催について

掘井 算満 議員

- ・ 人口対策について
- ・ 保育所の耐震化について

山中 修己 議員

- ・ 新型インフルエンザ対策の検証について
- ・ 好古館の事業について
- ・ 下水道の普及について

石田 喜久男 議員

- ・ コミュニティセンターの運営管理について
- ・ 農地転用手続きの迅速化について

鈴垣 元 議員

- ・ 「日経グローバル」掲載記事をめぐる問題について
- ・ 小野市正規職員削減と非正規職員雇用の実態と今後のあり方について

河島 信行 議員

- ・ 現役世代が「元氣」に働くことができる雇用の創出
- ・ 団魂世代以上の市民が「安心」して暮らせる地域社会づくり
- ・ こどもを「安心」して出産し、育てることのできる支援策
- ・ 「(仮称)北播磨総合医療センター」

竹内 修 議員

- ・ 国の平成21年度補正予算にかかる市の対応について
- ・ 「被災者支援システム」の利活用について

質疑発言者

藤井 玉夫 議員

- ・ 議案第42号 平成21年度小野市一般会計補正予算(第1号)について

市議会のホームページ

(議会日程を知る)

議会傍聴

(議場で直接聞く)

議会の活動を知るには

会議録検索システム

(本会議の内容を調べる)

議会だより

(議会の様子を知る)

自宅にいながら
議会の傍聴



実施中!!

小野市ホームページから
ご覧いただけます。

(傍聴に行けないとき)



清風クラブ

松本哲昇 議員

下水道について

質問 下水道の収益が悪い状況であるが値上げ時期は？

答弁 平成20年度末で2008億円の起債残高があり、経営状況を考えると値上げをしなければならぬが、しばらくは現状を維持したい。(市長)

質問 合併処理浄化槽区域の浄化槽管理状況は？

答弁 補助金要綱に適正な管理を義務付けていますが把握ができておりません。今後は適正な管理ができるように努めます。(水道部長)

資源ごみ回収について

質問 市が行なっている古紙回収に約500万円の税金が使用されている。他市ではPTA・自治会などに回収対価に対して補助を行うことで古紙回収効果を上げている。小野市でも税金の範囲内で回収対価補助を

すれば効果が上がると思うが？

答弁 ボランティア精神を重視してやり続けていただくことを望んでおり、今後も売却費用補助で対応したい。市が行う古紙回収も市民に定着しているので今後も続けていく。

(市民安全部次長)

答弁 対価補助を出せば回収効果があがるのが予想されるが、引き取り業者の利益確保になり行政として好ましくないと考えている。(市長)

市場小学校西グラウンドについて

質問 駐車場として利用するならば排水計画の見直しが必要では？

答弁 排水を根本的に見直すことが難しい状況であり、今後も現状の穴ぼこ補修を行いたい。(教育次長)

質問 市場小学校西グラウンドの更なる利活用について

答弁 避難場所等の機能を高める上でもスムーズな進入は不可欠と考えられており、新たな進入路も視野に入れ検討していきたい。(地域振興部長)



新生クラブ

加島 淳 議員

船木浄水場の稼働状況について

質問 私たちは船木浄水場の「新しい水」をいつから飲んでいるのか。

答弁 5月14日から新浄水場の水が家庭に届いている。

質問 新施設の特徴は。

答弁 ①耐震化施設となった②自動運転が可能となった③膜ろ過方式の採用で不溶性物質及び細菌を完全に除去④薬品の注入量が低減された。

質問 一般家庭での水質検査はしているのか。

答弁 市内7箇所毎日しているが、すべて基準値の範囲内。

質問 新浄水場ができたことでコストプッシュはないのか。料金改定は。

答弁 自動運転が可能になり3名職員を削減、汚泥の搬出量も減り、当面料金改定は行わず企業努力でいく。

質問 船木浄水場2期工事の概要は。

答弁 天日乾燥床を施工する。汚泥の処理方法としては、産業廃棄物と

して搬出するほか、建設路盤材など再利用も検討したい。(水道部長)

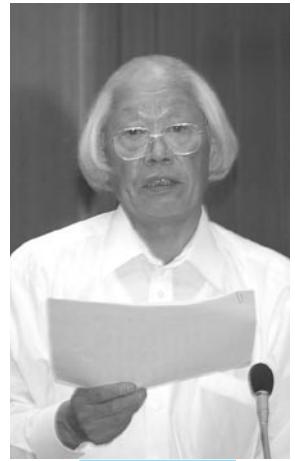
2010年「全国ハープサミット小野大会」開催について

質問 開催日及び会場は。

答弁 開催日は、来年5月29日・30日の2日間。屋内会場は「うるおい交流館エクラ」屋外会場は「ひまわりの丘公園」。

質問 準備委員会でもとめられた内容は。

答弁 大会に向け4つの柱を設定した。①花やハープを利用した美しいまちづくりめざす「景観緑化」②ハープのある暮らしを目指す「家庭内緑化」③ハープを体に取り込むことにより健康を目指す「体内緑化」④3つの柱の相乗効果で新たな産業の発掘を目指す「産業化」これらの柱のもと、ハープにかかわる地域の組織づくりや特産品加工部会等の育成を図り、小野市全体の更なる活性化につなげていきたい。(地域振興部長)



新生クラブ
堀井 算満 議員

人口対策について

質問 2055年の兵庫県将来推計人口が発表され、小野市は49,761人から33%減じて33,335人になると予測されております。本年から第4次小野市総合計画の策定が始まるが、人口対策は如何に。

答弁 この度、示された将来推計人口は、超少子高齢化の到来を示しており、小野市の存続を危惧する数値である。しかし、「何を、どうすれば、小野市の人口が減らないのか」ポジティブに考えチャレンジすることが重要。それには、魅力あるまちづくりなどの推進が不可欠である。旧KDDI用地、小野長寿の郷構想予定地など可能性を秘めた財産の活用を図って参りたい。(小林副市長)

保育所の耐震化について

質問 市内学校施設の耐震化整備事

業は順調に進み、本年度で完了の運びとなっているが、社会福祉法人が運営する市内14保育所の耐震診断及び耐震整備についてどのように指導され、取り組まれているのか。

答弁 昭和56年以前の旧建築基準法に基づく建築物は、市内14保育所のうち11保育所の13棟となっているが耐震改修促進法による改修指導助言の対象となる「2階建て、かつ、延べ床面積500㎡以上」の基準に達しない施設規模であり、いずれの施設も耐震診断及び耐震整備は未実施である。

しかし、保育所に診断についての意向調査を行ったところ、建築基準法に基づいて実施している「特殊建築物定期調査」では、特に措置を要しないとの結果が出ており、早期に着手される考えに至っていない。

市としては、「法人保育所施設整備補助金」も確立しており、保育施設の耐震化が順次図られるよう、引き続き働きかけてまいりたい。

(市民福祉部長)



市民クラブ
山中 修己 議員

新型インフルエンザ対策の検証について

質問 経済的影響、対策の検証及び今後の危機管理について問う。

答弁 ゆぴか等の公共施設の休業及び市民病院における発熱外来の準備経費、感染予防品の購入等で約2,300万円の影響がありました。民間では旅行代理店やゴルフ場の売上の減少など調査可能な範囲での影響額は約6,000万円と試算され、合計で約8,300万円を超える影響があったと思われれます。結果の検証についてはPDCAのマネジメントサイクルに基づき、今回の対策を項目毎に分類し、課題や問題点、反省点などを洗い出し、それに対する改善や変更点をだして、分析していきます。秋以降懸念されている第2波に備え、「新型インフルエンザ対策検討委員会」を組織し検討していきます。

(市民安全部長)

答弁 ゆぴかの客足回復と200万

人突破記念とを兼ねて、7月1ヶ月間入場料半額等を考えています。

好古館の事業について

質問 好古館の事業、貯蔵品の活用及び浄土寺コーナーの充実について問う。

答弁 好古館は小野市に残る貴重な歴史民族資料を収集、保存、公開しており、特別展、企画展、茶会、音楽会などを行っています。現在、収蔵品は約3万1千点あり、年4回常設展示を入れ替え、テーマに沿った展示を行っています。スペースは飽和状態ですが、現在の中2階の拡充で、20%アップさせたいと思っています。浄土寺コーナーは見学者に浄土寺に行ってみたくて思ってもらうことを目的に、入り口に実物大の阿弥陀三尊の写真と江戸時代の浄土寺の建物配置を復元した模型を設置しています。今後は県指定文化財の行道面や鬼面、市指定文化財の扁額などの展示も考えます。

(教育長)



明政クラブ
石田喜久男 議員

コミュニティセンターの運営管理について

質問 コミュニティセンターの運営管理について、指定管理者制度を導入し、地域づくり協議会や自治会などを指定管理者として、委託することについての考えをお伺いします。

答弁 コミュニティセンターは、地域に密着したコミュニティ活動等の推進により、市民の人権意識の高揚、文化教養、地域福祉の向上などを図ることを目的としております。また、その目的を達成するために、教養の向上、文化活動の推進、人権啓発、地域福祉の増進等の向上発展に関する業務を行っております。

各コミュニティセンターを自主的・自立的な地域づくり推進団体の活動拠点として活かしつつ、地域づくり協議会や自治会などから意欲的な運営管理の申し出があれば、コミュニ

ティセンターの、指定管理者として、委託することを積極的に推進してまいります。
(教育次長)

農地転用手続きの迅速化について

質問 現在、農地転用の許可が下りるまでどのくらいの時間を要しますか。

答弁 農用地区域から除外されていることが条件で、申請受付後から約二ヶ月で許可が下りております。また、転用目的により許可が遅れた特殊な事例はありません。なお農用地区域内の農地であれば除外する手続きに別途六ヶ月程度要すると、聞いております。
(農業委員会会長)

質問 農振除外の手続きを迅速化できませんか。

答弁 農振除外の許可権者は県知事であり、機会を見て事務の迅速化が図られるよう意見具申したい。

(地域振興部長)



日本共産党
鈴垣 元 議員

日経グローバル掲載記事問題について

経済誌「日経グローバル」の首長インタビューに登場した蓬萊小野市長が、「私は自治労を解体すべき」と思っている。小野市の組合(幹部)には「自治労から脱退しろ」と言っている」等々発言したとして、自治労県本部が市内にビラを配布したり、市役所に街宣車を取り付け抗議行動するなどが行われた。記事の内容が本当なら、憲法21条の「集会・結社の自由」、28条「勤労者の団結する権利」に抵触するとして市長に質問しました。

質問 ビラに書かれている抜粋記事に間違いはないか。

答弁 インタビューでは、小野市の行政経営の基本理念、変革をめざした仕組みづくり、職員の意識改革等を説明し、加えて、成果と報酬が連動する制度の構築など、私の理念と

するところを申し上げ記事となったもの。抜粋記事はその一部、少し過激な表現となっているが私の本意ではない。
(市長)

質問 「日経グローバル」は全国誌。記事に間違いはないなら問題で、自治労に抗議を受けて当然だ。「本意ではない」の謝罪文を同誌上に掲載すべきだ。

答弁 結論を言うと、6月4日、自治労県委員長と私が直接会談し決着している。お互いに「もう何も言わない」約束になっているので答弁は控える。
(市長)

質問 井上・小林両副市長は元市職労の一員。市長の発言に対し謝罪を進言されなかったのか。

答弁 過激な発言をされたなど思ったが、市長の政治理念であり、とやかく言う立場にないと思っております。

答弁 井上副市長と趣旨的に変わりはない。人事を担当した経験から言うと、自治労も変わるべき時が来ているのではと思う。
(小林副市長)



新生クラブ
河島 信行 議員

質問 現役世代が『元気』に働くことができる雇用の創出

① 伝統産業・地場産業の後継者の育成支援策について

答弁 商工会議所に専門員を採用し、後継者育成等の研究を行う『地場産業活性化事業』を開始。

② 中小企業の支援策について

答弁 求職者対象「就職情報フェア」を開催。(地域振興部長)

③ 工業団地の整備構想について

答弁 K D D I から取得した産業用地約4ヘクタールは粗造成を行い、排水処理等の防災工事中。小野工業団地の東側の山林部分30ヘクタールを拡張する計画あり。(井上副市長)

質問 団塊世代以上が『安心』して暮らせる地域社会づくり

① 地域の『祭』への支援について

答弁 「やぐら、音響設備、テント」を購入したので、「市場夏祭り」や「各地域のまつり、運動会」に活用できる。(教育次長)

② 「JR各駅周辺施設」の活性化策(駐車場整備など)について

答弁 粟生駅前は20台、河合西駅前には18台、小野町駅前には16台分確保している。

質問 こどもを『安心』して出産し、育てることのできる支援策

① 子育て応援特別手当について

答弁 平成21年度に限り第一子まで拡大して実施。

② 「保育料」負担への支援について

答弁 市は保護者負担軽減を図るため、すでに市の単独助成として年間約1億円の保育料を軽減している。

③ 高等学校以上の生徒、学生の授業料への緊急支援について

答弁 小野市独自の緊急支援の予定はありません。(市民福祉部長)

質問 「(仮称)北播磨総合医療センター」について

① 「県所有地」と「小野市所有地」の交換の実現の見通しについて

答弁 交換は確実と判断。

② 新病院へのアクセス計画について

答弁 計画を策定予定。(井上副市長)



公明党
竹内 修 議員

国の補正予算の対応について

◆ 学校耐震化の取り組みについて

質問 今回の補正予算では、1s値0・7未満の校舎の耐震化推進がうたわれていますが、小野市での取り組みに変更はありますか。

答弁 この耐震関連事業交付金は、地方負担額の約55%が予定されていますが、単年度のもので、繰越想定しても平成二十二年度の完成事業が対象、現在、小野中学校の校舎及び体育館の改築事業(約十三億円)の前倒しを検討します。(教育次長)

◆ 女性特有のガン対策について

質問 女性特有のガンの早期発見のため、「乳・子宮ガン検診の無料クーポン券」の導入が望まれますが。

答弁 ご指摘のとおり、女性のガン検診受診率は、欧米に比べ極めて低く、罹患・死亡率を減少させるためには、検診による受診率の向上が唯一最大の方策です。

小野市では、国の基準に基づき病理・臨床結果をもとに、乳ガン検診を四十歳から六十歳まで、子宮頸ガン検診を二十歳から四十歳までの五歳刻みの節目年齢の方を対象に、無料受診クーポン券を郵送して実施します。(市民福祉部長)

◆ 子育て応援特別手当について

質問 小野市での取り組みについてお聞かせください。

答弁 現下の不況下では、可能な限り速やかな実施が望まれます。現在、年内の支給完了を目指し取り組んでいるところです。

小野市では、所得制限は設けず、第一子から、一人当たり三万六千円を支給します。(市民福祉部長)



議案質疑

新生クラブ

藤井玉夫 議員

平成21年度小野市一般会計補正予算について

質疑 観光客誘致促進事業について

答弁 市観光協会に助成し、飲食店ガイドマップ、ピクチャーカードの作成、観光PR等を行い、民間事業者等の参画を得て、地域の活性化を図りたい。
(地域振興部長)

質疑 消防緊急通信指令システム更新事業について

答弁 現システムを導入して約20年が経過し、老朽化が著しく119番緊急通報の受診対応に支障をきたす恐れが出ている。通報者から火事・救急等の発生現場を瞬時に確認可能な新たな位置情報システムの導入も含め、迅速な緊急出動ができるよう改善を図りたい。
(消防長)

答弁 このたびの消防緊急通信指令システムの更新に関しては、消防の広域化の動きを勘案して、当面の急を要する現行システムの改善を図りたい。
(市長)

質疑 高齢世帯火災警報器設置事業について

答弁 住宅火災による死亡者の6割が高齢者で、災害弱者である市内75歳以上の高齢者独居世帯・高齢者夫婦世帯に対し、1台購入するための経費、器具取り付け設置経費を設置義務化にあわせ支援を行う。
(消防長)

答弁 障害者世帯の設置に関しては、自立支援法により、機器購入費の9割の助成がされており、警報音で対応できない聴覚障害者世帯の高額機器の導入にあたっては、現行の制度でもって支援を行っていききたい。
(市民福祉部長)



慎重に審査される委員（総務文教常任委員会）

常任委員会審査報告

6月定例会の提出議案の審査付託について、6月19日、総務文教、民生保健、地域振興、各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第42号にかかる1議案であり、市当局から説明を受け、慎重に審査しました。

【各常任委員会に付託された議案】

- ・議案第42号 平成21年度小野市一般会計補正予算(第1号)

採決の結果、各常任委員会とも議案について、全員賛成により可決すべきと決まりました。

なお、審査する過程において、次のような意見がありました。

総務文教常任委員会では、将来的には、救急車・消防車の車両の走行位置が、司令室でもわかるようなシステムにさせていただき、到着時間が短縮できるよう、検討されたい。

地域振興常任委員会では、各駅に設置される、駅防犯カメラの設置にあたっては、管理運用の規定を検討されたい。

これまでの議会改革特別委員会の経過等

会議等開催日等	検 討 内 容 等
第1回議会改革特別委員会 (平成21年4月6日)	正副委員長の選出。議会改革特別委員会申し合わせ事項の設置。会派ごとに提出された検討項目(49項目)について、各会派より説明を求めた。
第2回議会改革特別委員会 (平成21年4月23日)	改革検討項目45項目(重複分除く)の内、16項目を検討した。 内訳は次のとおり。 議会改革特別委員会3項目、諮問委員会への調査等…(議員協議会(5/18)…議員定数関係4項目、会派代表者会1項目、議会運営委員会3項目)、決定項目4項目、会派からの取下げ1項目。 議会改革特別委員会会議録の閲覧を取り決めた。
第3回議会改革特別委員会 (平成21年5月21日)	改革検討項目残り29項目の内、7項目を検討した。 議会改革特別委員会1項目、保留項目1項目、決定項目4項目、会派からの取下げ1項目。
第4回議会改革特別委員会 (平成21年6月29日)	改革検討項目残り22項目を検討した。 議会改革特別委員会8項目、決定項目1項目、議会運営委員会2項目、削除項目10項目、会派からの取下げ1項目。
第5回議会改革特別委員会 (平成21年8月6日)	改革項目(19)の協議。(予定)

議会改革特別委員会の経過と状況

平成21年3月定例会において、議員定数および議会改革について検討する、議会改革特別委員会が設置されました。
その後の経過と取り組み状況について報告します。

※議員定数についての取り組み状況

井上日吉委員長は、全議員に対し、議員定数に対する考え方と理論についての調査を行うとともに、議員協議会において、全議員から考え方を聴取しました。
議員定数についての調査項目は次のとおりです。

1 議員定数を増・現状・削減する根拠について

(適正な議員定数について、人口や面積、社会経済情勢等のさまざまな観点から理論付けてください。)

2 議員定数を増・現状・削減することにより市民に与える影響について

(行政の役割は住民福祉の

向上であり、それを市民の目線で監視するのが議会の役割であります。昨今は住民の意識も向上し、行政や議会に対する監視の目も厳しいものとなっております。議員が市全体の代表として、その役割を果たす重要性の観点から市民に与える影響について理論付けてください。)

3 議会の果たす役割と議員定数を増・現状・削減することについて

(地方分権により、議会の果たす役割がますます重要になっていきますが、一方では、パブリックコメントの実施やインターネット等による高度情報社会により、市民の参画や市民の要望をより迅速に市政に反映させる仕組みが出来る現在の現状の観点から理論付けてください。)

4 行政運営の効率化と議会の効率化について

(行政運営の簡素化や合理化と同様の観点で議会の効率

化を論ずるべきではありませんが、報酬をはじめとした各種経費の削減や議員による効率的な議会運営は、今後ますます求められるものであります。過去に行った議員定数削減の観点も含め、議案審議等への影響について理論付けてください。)

5 議員定数ではなく、報酬等の経費を削減することについて

(報酬や各種経費等を削減することで、議員定数削減と同様の効果が期待できることは理解しますが、議員報酬や政務調査費のあり方等の観点から理論付けてください。)

全議員の意見を踏まえ、今後も引き続き議会改革特別委員会において検討していきます。

会議録の閲覧は、市役所5階市議会図書室でできます。

行政視察報告

総務文教常任委員会

7月6日(月)～8日(水)

①佐賀県伊万里市

行政評価システムについて

平成13年度から行政評価に取り組み、平成14年度は事務事業評価のモデル試行、平成15年度から本格的に実施、「少ない資源でより大きなサービス提供効果をあげる行政運営の推進」を図られていた。

②佐賀県佐賀市

広域消防について

広域消防の発足当時(2市10町)、消防本部の歴史、背景もあり、戸惑いもあったようだが、消防再編の目標であった消防力の強化と住民サービスの質の向上を

感じとることができた。

③福岡県大牟田市

ICT教育について

市内全校でICT教育を推進し、希望研修講座を設け、様々な研修をされ、ICT機器をいかに有効に授業に活用するか、求められている。



広域消防について研修した(佐賀広域消防局で)

民生保健常任委員会

7月14日(火)～16日(木)

①千葉県鴨川市

幼保一元化について

幼稚園と保育園を1ヶ所の施設で運営する幼保一元化は、少子化時代の中で注目されている。しかし、それぞれが異なる制度での運営となるため、実施には様々な困難がともない普及していないのが現状である。このような状況下で鴨川市では先進的に取り組まれている。

②千葉県香取市

介護保険料について

制度開始から、8年が経過した介護保険料について、

小野市に比して高い高齢化率(25.8%)であるにもかかわらず、低水準の介護保険料で運営されている。

③東京都青梅市

シルバーマイスター事業について

高齢者が、優れた技能・知識・経験等をボランティア活動を通じて社会参加を図ることを目的に、平成17年度に市の職員の提案により制度化された事業である。今後ますます増加する高齢者の、社会参加の場を提供する制度として注目されている。



香取市ではデイサービス施設の視察も行った

地域振興常任委員会

7月21日(火)～23日(木)

①北海道苫小牧市

ミニマムアクセス米を原料にしたバイオエタノール

農林水産省が推進する「バイオ燃料地域利用モデル実証事業」において、米を主原料とするバイオエタノール製造の実用化に向けた技術実証に取り組んでいる。

②北海道滝川市

地域活性化プロジェクトについて

地域再生チャレンジ交付金による、地域特産品ブランド化事業を実施。地域特産品をそらぶちブランドとして、JA滝川産の小麦「ハルユタカ」を使用したラーメンをブランド化。

③北海道江別市

農商工連携について

江別経済ネットワークは、「江別小麦めん」の開発・商品化を地域ブランド形成プロジェクトと位置付け、江別麦の会と連携し「江別小麦めん」を開発。



バイオエタノール事業の視察研修(オエノンホールディングス)

◎議会の動き◎

【5月】

- 7日 議会運営委員会
 - 〃 議員互助会総会
 - 〃 会派代表者会
- 9日 小野市保育所連合保護者会代表者会総会
- 12日 兵庫県市議会議長会総会(淡路市)
- 13日 会派代表者会
- 14日 臨時議会
- 18日 市議会報編集委員会
 - 〃 議員互助会総会
 - 〃 議員協議会
 - 〃 議員研修会
- 21日 議会改革特別委員会
- 24日 三木市・小野市統合病院建設協議会
- 25日 議会運営委員会
 - 〃 市議会報編集委員会
- 27日 全国市議会議長会総会(東京)
- 29日 本会議(第1日)
- 30日 市場小学校・小野特別支援学校運動会
- 31日 小野市文化連盟総会

【6月】

- 4日 北播政経懇話会(西脇市)
- 6日 小野市女性団体連絡会総会
 - 〃 小野市男女共同参画センター開設5周年記念講演会
- 7日 兵庫県民フォーラム「公立病院はどうなる」
- 9日 小野市観光協会通常総会
- 16日 本会議(第2日目)
 - 〃 小野市農会長会総会
- 17日 本会議(第3日目)
- 19日 総務文教・民生保健・地域振興常任委員会
 - 〃 小野防犯協会総会
- 23日 本会議(第4日目)
- 24日 総務文教常任委員会研修会
- 27日 シルバー人材センター臨時総会
- 29日 議会改革特別委員会

【7月】

- 2日 播磨内陸医務事業組合議会
 - 〃 北播衛生事務組合議会
- 3日 播磨内陸広域行政協議会(西脇市)
- 6日～8日 総務文教常任委員会行政視察(伊万里市・佐賀市・大牟田市)
- 7日 市議会議員特別セミナー(千葉市)
- 8日 第8回地方の元気回復対話交流会(神戸市)
- 9日 東播・淡路市議会議長会定例会(明石市)
- 10日 民生保健常任委員会研修会
 - 〃 行政視察来市(香川県三豊市)
- 13日 小野市防災会議・水防協議会・国民保護協議会
- 14日～16日 民生保健常任委員会行政視察(鴨川市・香取市・青梅市)
- 14日 一般国道175号整備促進期成同盟会総会
- 16日 地域振興常任委員会研修会
- 17日 市議会報編集委員会
- 21日 地域づくり懇話会(加西市)
- 21日～23日 地域振興常任委員会行政視察(苫小牧市・滝川市・江別市)
- 23日 兵庫県市議会議長会総会(宍粟市)
- 24日 小野市交通対策委員会総会
- 25日 東播磨地区保育研究大会
- 29日 行政視察来市(愛知県安城市)
- 31日 全国市議会議長会産業経済委員会(東京)

6名の議員が全国市議会議長会から表彰されました

5月27日(水)全国市議会議長会総会において、小野市議会の6名の議員が全国市議会議長会会長表彰(議員10年)を受けました。

受賞者は、松本英昭議員、石田喜久男議員、藤原 健議員、掘井算満議員、松井精史議員、井上日吉議員の6名です。



写真左から、松井精史議員、河島信行副議長、松本英昭議員、掘井算満議員、川名善三議長、石田喜久男議員、井上日吉議員、藤原 健議員

9月定例会日程

9月定例会の日程が決まりました。

9月2日(水) 本会議(第1日) 10時～

9月15日(火) 本会議(第2日) 10時～

9月16日(水) 本会議(第3日) 10時～

9月25日(金) 本会議(第4日) 13時30分～

本会議の第2日と第3日は、議員の質疑、一般質問があります。

議員からは提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して市長・部長が答弁します。

傍聴お待ちしております!!

託見コーナー開設します

9月15日(火)・16日(水)

ご希望の方は9月7日(月)までに議会事務局までお申込みください。

